

【表紙】

| | |
|------------|-----------------------------------|
| 【提出書類】 | 四半期報告書 |
| 【根拠条文】 | 金融商品取引法第24条の4の7第1項 |
| 【提出先】 | 関東財務局長 |
| 【提出日】 | 平成23年8月11日 |
| 【四半期会計期間】 | 第21期第1四半期（自平成23年4月1日至平成23年6月30日） |
| 【会社名】 | コムシード株式会社 |
| 【英訳名】 | CommSeed Corporation |
| 【代表者の役職氏名】 | 代表取締役社長 坂入 万弘 |
| 【本店の所在の場所】 | 東京都千代田区神田駿河台三丁目2番地 |
| 【電話番号】 | (03)5289-3111(代表) |
| 【事務連絡者氏名】 | 経営管理部ゼネラルマネジャー 小倉 誠 |
| 【最寄りの連絡場所】 | 東京都千代田区神田駿河台三丁目2番地 |
| 【電話番号】 | (03)5289-3114 |
| 【事務連絡者氏名】 | 経営管理部ゼネラルマネジャー 小倉 誠 |
| 【縦覧に供する場所】 | 株式会社名古屋証券取引所 (名古屋市中区栄三丁目8番20号) |

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

| 回次 | 第20期 第1四半期 累計期間 | 第21期 第1四半期 累計期間 | 第20期 |
|---------------------------------|-----------------------------------|-----------------------------------|-----------------------------------|
| 会計期間 | 自平成22年 4月1日 至平成22年 6月30日 | 自平成23年 4月1日 至平成23年 6月30日 | 自平成22年 4月1日 至平成23年 3月31日 |
| 売上高(千円) | 293,427 | 267,420 | 1,131,764 |
| 経常利益(千円) | 16,013 | 5,854 | 49,963 |
| 四半期(当期)純利益(千円) | 15,115 | 4,540 | 23,169 |
| 持分法を適用した場合の投資利益 (千円) | | | |
| 資本金(千円) | 568,883 | 568,883 | 568,883 |
| 発行済株式総数(株) | 37,500 | 37,500 | 37,500 |
| 純資産額(千円) | 601,528 | 614,122 | 609,582 |
| 総資産額(千円) | 842,639 | 868,382 | 859,047 |
| 1株当たり四半期(当期)純利益金 額(円) | 404.88 | 121.61 | 620.60 |
| 潜在株式調整後1株当たり四半期 (当期)純利益金額(円) | | | |
| 1株当たり配当額(円) | | | |
| 自己資本比率(%) | 71.3 | 70.7 | 71.0 |

(注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりませんので、連結会計年度にかかる主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

2. 売上高には、消費税等は含んでおりません。

3. 持分法を適用した場合の投資利益については、当社は持分法を適用する関連会社がないため記載しておりません。

4. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2【事業の内容】

当第1四半期累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

第2【事業の状況】

1【事業等のリスク】

当第1四半期累計期間において、新たな事業等のリスクの発生、または、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについての重要な変更はありません。

2【経営上の重要な契約等】

当第1四半期会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期会計期間の末日現在において当社が判断したものであります。

(1) 業績の状況

当第1四半期累計期間におけるモバイルコンテンツ市場は、スマートフォンが台頭し、今後も同市場を取り巻く環境は大きく変化していくことが見込まれております。また、国内のSNSプラットフォーム向けのソーシャルアプリ市場がさらなる拡大の兆しを見せております。

このような状況のもと、携帯公式サイトでの会員数は減少傾向にありましたが、持続的な成長と企業収益力のさらなる基盤強化に向け、既存ビジネスを新しいプラットフォームにマルチ展開を図るなどの取り組みを加速させました。

以上の結果、当第1四半期累計期間における業績は、売上高267,420千円（前年同四半期比8.9%減）、営業利益5,869千円（前年同四半期比63.6%減）、経常利益5,854千円（前年同四半期比63.4%減）、四半期純利益4,540千円（前年同四半期比70.0%減）となりました。

なお、当社はモバイル事業の単一セグメントであるため、セグメントごとの記載は行っておりませんが、事業におけるサービス分野別の主な取り組みは、以下のとおりであります。

ソーシャルアプリについては、株式会社ディー・エヌ・エーが運営する「Mobage」内のパチンコ、パチスロ総合ポータルサービス「モバ7」にパチンコアプリ「CRモンスターハウス」を提供いたしました。また、前事業年度末にサービスを開始した恋愛ソーシャルゲーム「eden*学園恋物語」についても、当事業年度より本格稼働しており、徐々に会員数を伸ばしております。

スマートフォン関連については、スロットアプリ「南国育ちスペシャル」のAndroid OS版を、iPhone版に続き販売開始しました。同アプリは、AppStore有料アプリ部門で第1位、Android Marketで第3位となるなど好評を得ております。そのほか、Android OS対応ビューアアプリ「みんなで作ろう パチ&スロ攻略情報 ウィキレ」を提供するなど、既存のコンテンツの新プラットフォームへの対応を進めております。

携帯公式サイト関連については、当社オリジナルのパチンコ・パチスロ総合情報サイトである「パチンコ倶楽部」において、パチンコ・パチスロの機種情報やそれらの攻略情報のさらなる充実化に取り組みました。また、メーカーオフィシャルサイトでは、パチンコ・パチスロの新機種導入時にタイムリーな情報提供を行った他、人気の携帯アプリの早期配信など、引き続きサービスの拡充に取り組みました。

パチンコ店舗向けサービスでは、店舗向けASPサービス（有料店舗情報サービス）のラインナップ拡充、全国店舗への営業体制の強化を行いました。

(2) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第1四半期累計期間において、当社が対処すべき課題について重要な変更はありません。

(3) 研究開発活動

該当事項はありません。

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

【株式の総数】

| 種類 | 発行可能株式総数(株) |
|------|-------------|
| 普通株式 | 120,000 |
| 計 | 120,000 |

【発行済株式】

| 種類 | 第1四半期会計期間末現在発行数(株) (平成23年6月30日) | 提出日現在発行数(株) (平成23年8月11日) | 上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名 | 内容 |
|------|------------------------------------|-----------------------------|------------------------------------|---------------------|
| 普通株式 | 37,500 | 37,500 | 名古屋証券取引所 (セントレックス) | 当社は単元株制度は採用しておりません。 |
| 計 | 37,500 | 37,500 | - | - |

(2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

| 年月日 | 発行済株式総数増減数(株) | 発行済株式総数残高(株) | 資本金増減額 (千円) | 資本金残高 (千円) | 資本準備金増減額 (千円) | 資本準備金残高 (千円) |
|--------------------------|---------------|--------------|----------------|---------------|------------------|-----------------|
| 平成23年4月1日～ 平成23年6月30日 | | 37,500 | | 568,883 | | |

(6)【大株主の状況】

当四半期会計期間は第1四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(7) 【議決権の状況】

当第1四半期会計期間末現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日（平成23年3月31日）に基づく株主名簿による記載をしております。

【発行済株式】

平成23年6月30日現在

| 区分 | 株式数(株) | 議決権の数(個) | 内容 |
|----------------|-------------|----------|---------------------------|
| 無議決権株式 | | | |
| 議決権制限株式(自己株式等) | | | |
| 議決権制限株式(その他) | | | |
| 完全議決権株式(自己株式等) | 普通株式 166 | | |
| 完全議決権株式(その他) | 普通株式 37,334 | 37,334 | 権利内容に何ら限定のない当社における標準となる株式 |
| 発行済株式総数 | 37,500 | | |
| 総株主の議決権 | | 37,334 | |

【自己株式等】

平成23年6月30日現在

| 所有者の氏名又は名称 | 所有者の住所 | 自己名義所有株式数(株) | 他人名義所有株式数(株) | 所有株式数の合計(株) | 発行済株式総数に対する所有株式数の割合(%) |
|------------|--------------------|--------------|--------------|-------------|------------------------|
| コムシード株式会社 | 東京都千代田区神田駿河台三丁目2番地 | 166 | | 166 | 0.44 |
| 計 | | 166 | | 166 | 0.44 |

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

第4【経理の状況】

1. 四半期財務諸表の作成方法について

当社の四半期財務諸表は、「四半期財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成19年内閣府令第63号。)に基づいて作成しております。

2. 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、当第1四半期会計期間(平成23年4月1日から平成23年6月30日まで)及び当第1四半期累計期間(平成23年4月1日から平成23年6月30日まで)に係る四半期財務諸表について、霞が関監査法人による四半期レビューを受けております。

3. 四半期連結財務諸表について

当社は子会社がありませんので、四半期連結財務諸表を作成しておりません。

1【四半期財務諸表】
(1)【四半期貸借対照表】

(単位：千円)

| | 前事業年度 (平成23年3月31日) | 当第1四半期会計期間 (平成23年6月30日) |
|--------------|-----------------------|----------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 346,679 | 379,348 |
| 売掛金 | 262,470 | 249,089 |
| 商品及び製品 | 8,170 | 6,060 |
| 原材料及び貯蔵品 | 9,073 | 8,094 |
| その他 | 96,006 | 90,517 |
| 貸倒引当金 | 30 | 8 |
| 流動資産合計 | 722,370 | 733,102 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | 39,870 | 36,778 |
| 無形固定資産 | 4,581 | 3,957 |
| 投資その他の資産 | | |
| その他 | 124,155 | 126,474 |
| 貸倒引当金 | 31,930 | 31,930 |
| 投資その他の資産合計 | 92,225 | 94,544 |
| 固定資産合計 | 136,677 | 135,280 |
| 資産合計 | 859,047 | 868,382 |
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 買掛金 | 141,132 | 137,008 |
| 未払法人税等 | 2,192 | 588 |
| 本社移転費用引当金 | 6,900 | - |
| その他 | 62,282 | 80,301 |
| 流動負債合計 | 212,506 | 217,899 |
| 固定負債 | | |
| 退職給付引当金 | 13,925 | 13,621 |
| 役員退職慰労引当金 | 19,329 | 19,329 |
| その他 | 3,704 | 3,409 |
| 固定負債合計 | 36,958 | 36,360 |
| 負債合計 | 249,465 | 254,259 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 568,883 | 568,883 |
| 利益剰余金 | 58,054 | 62,594 |
| 自己株式 | 17,355 | 17,355 |
| 株主資本合計 | 609,582 | 614,122 |
| 純資産合計 | 609,582 | 614,122 |
| 負債純資産合計 | 859,047 | 868,382 |

(2) 【四半期損益計算書】
 【第 1 四半期累計期間】

(単位 : 千円)

| | 前第 1 四半期累計期間 (自 平成22年 4 月 1 日 至 平成22年 6 月30日) | 当第 1 四半期累計期間 (自 平成23年 4 月 1 日 至 平成23年 6 月30日) |
|--------------|---|---|
| 売上高 | 293,427 | 267,420 |
| 売上原価 | 179,882 | 163,387 |
| 売上総利益 | 113,544 | 104,032 |
| 販売費及び一般管理費 | 97,426 | 98,162 |
| 営業利益 | 16,118 | 5,869 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 30 | 18 |
| その他 | 1 | 1 |
| 営業外収益合計 | 31 | 20 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 136 | 36 |
| 営業外費用合計 | 136 | 36 |
| 経常利益 | 16,013 | 5,854 |
| 特別損失 | | |
| 本社移転費用 | - | 1,076 |
| 特別損失合計 | - | 1,076 |
| 税引前四半期純利益 | 16,013 | 4,777 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 897 | 237 |
| 法人税等合計 | 897 | 237 |
| 四半期純利益 | 15,115 | 4,540 |

【追加情報】

| |
|---|
| 当第1四半期累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日) |
| (会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用) 当第1四半期会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」(企業会計基準第24号平成21年12月4日)及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第24号平成21年12月4日)を適用しております。 |

【注記事項】

(四半期キャッシュ・フロー計算書関係)

当第1四半期累計期間に係る四半期キャッシュ・フロー計算書及び前第1四半期累計期間に係る四半期キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

| | 前第1四半期累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日) | 当第1四半期累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日) |
|-------|---|---|
| 減価償却費 | 13,124千円 | 3,932千円 |

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期累計期間(自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)及び当第1四半期累計期間(自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)

当社は、携帯電話等のモバイル端末向けコンテンツの企画・制作・配信と関連するサービスの提供を行う単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

| | 前第1四半期累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日) | 当第1四半期累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日) |
|---------------------|---|---|
| 1株当たり四半期純利益金額 | 404円88銭 | 121円61銭 |
| (算定上の基礎) | | |
| 四半期純利益金額(千円) | 15,115 | 4,540 |
| 普通株主に帰属しない金額(千円) | | |
| 普通株式に係る四半期純利益金額(千円) | 15,115 | 4,540 |
| 普通株式の期中平均株式数(株) | 37,334 | 37,334 |

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

| 当第1四半期会計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日) |
|--|
| <p>(株式会社北電子との情報サービスサイトの共同運営に関する契約延長の覚書の解消)</p> <p>1. 契約延長の覚書を解消するまでの経緯</p> <p>当社と株式会社北電子は、各携帯電話事業者が提供する電気通信サービスを利用して、共同で情報サービスサイトの運営及び提供することを内容とする契約の終了に伴い、平成23年2月28日付けで、当該契約について期限の定めのない延長覚書を締結しておりましたが、株式会社北電子より自社運営による新たな情報サービスの開設が確定し、本覚書解消の申し入れがなされたことから、平成23年7月7日に本覚書を解消いたしました。</p> <p>2. 相手会社の概要</p> <p>(1) 名称 株式会社北電子</p> <p>(2) 所在地 東京都豊島区西池袋一丁目7番7号</p> <p>(3) 代表者 代表取締役 小林友也</p> <p>3. 解消した情報サービスの概要</p> <p>当該サービスに係る売上高は、平成23年3月期にて519,246千円(売上高に占める割合45.9%)、当第1四半期累計期間にて103,737千円(売上高に占める割合38.8%)であります。</p> |

2【その他】

(1) 決算日後の状況

特記事項はありません。

(2) 訴訟

当社は、株式会社サーゴ・インターナショナルに対し、「宇宙戦艦ヤマト復活篇」の公認WEBサイトの運営に関する許諾契約について、債務不履行による35,000千円のロイヤリティ返還請求の訴えを、平成21年11月18日に東京地方裁判所に提起し、現在係争中であります。当社としては、勝訴するものと判断しており、引き続き裁判手続きにおいて当社の正当性を主張していく所存であります。

なお、四半期報告書提出日現在において、四半期報告書に重要な影響を及ぼす事実はありません。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成23年8月10日

コムシード株式会社
取締役会御中

電 関 監 査 法 人

指定社員 公認会計士 小林 和夫 印
業務執行社員

指定社員 公認会計士 渡邊 誠 印
業務執行社員

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられているコムシード株式会社の平成23年4月1日から平成24年3月31日までの第21期事業年度の第1四半期会計期間（平成23年4月1日から平成23年6月30日まで）及び第1四半期累計期間（平成23年4月1日から平成23年6月30日まで）に係る四半期財務諸表、すなわち、四半期貸借対照表、四半期損益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期財務諸表の作成基準に準拠して四半期財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期財務諸表の作成基準に準拠して、コムシード株式会社の平成23年6月30日現在の財政状態及び同日をもって終了する第1四半期累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

強調事項

重要な後発事象に記載されているとおり、会社は平成23年7月7日に株式会社北電子との情報サービスサイトの共同運営に関する契約延長の覚書を解消した。

当該事項は、当監査法人の意見に影響を及ぼすものではない。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

- (注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。
2. 四半期財務諸表の範囲にはX B R Lデータ自体は含まれておりません。